

業務実績評価に関するご意見等一覧

(令和6年度業務実績評価、中期目標期間終了時の見込み業務実績評価)

※主なものを掲載、順不同、一部要約

ご意見等	
第1-1	<p>市民病院が担うべき医療</p> <p>(篠原委員)</p> <p>各項目にわたり患者の立場に寄り添う姿勢をありがたく思います。日夜、患者対応に大変な中、医療スタッフのスキルアップに努められていることが病院への信頼につながるものと考えられるので、今後とも人材育成と確保に努めていただきたい。</p> <p>(田中委員)</p> <p>2024年度の実績値が目標値に達していない項目がありますが、財務的には当初予算を上回る結果となっており、目標値の達成状況が経営上の課題を認識する指標となっていない恐れがありますし、目標値に達しなかった原因分析に関する記述がありません。次期では、数値の達成状況から課題が認識できるような目標を設定されてはでしょうか。</p> <p>(松本委員)</p> <p>災害時対応について、災害支援ナースについて医療法及び感染症法の改正により、令和6年4月から「災害・感染症医療業務従事者」として法定化されました。貴院も知事との協定を結んだと認識しておりますが、そのことにつきましても記載してはいかがでしょうか。</p>
第1-2	<p>患者サービスの向上</p> <p>(伊藤委員)</p> <p>外来患者の総合満足度がもう一つだが、全体的に患者に寄り添う対応をしている。</p> <p>(篠原委員)</p> <p>外来待ち時間の減少は大きな結果であり、患者の立場からするとかなりありがたいことです。今後も工夫を凝らして可能な限り改善を望みたい。</p> <p>(松本委員)</p> <p>セル看護方式を導入し、看護の質の向上を図ったとの記載がありますが、県内でも先駆的な取り組みでもあり、具体的な効果について教えていただきたい。</p>
第1-4	<p>医療提供体制の充実</p> <p>(伊藤委員)</p>

地域の中核医療機関として、範となる事業を遂行している。

(篠原委員)

後進の育成に力を入れて支援をされていることに心強く思う。「長野市民病院ふれ愛基金」は、一市民でも少額でも参加可能なものでしょうか。

(松本委員)

P46 インシデント・アクシデントレポートの報告件数が△55 件でしたが、どのように分析していますか。(例えば、研修の効果、対策の成果など)

第2-1 経営管理機能の充実

(伊藤委員)

経営管理体制を緩ませない仕組みを取り入れており、しっかり対処している。

第2-2 働きやすくやりがいのある職場環境の整備

(伊藤委員)

有給休暇も平均的に取得されており、また、医師を含む職員の月平均時間外労働が16時間位ということは、働いている方が毎日過重な負荷なく仕事に就いているということであり、素晴らしい職場形成である。

(篠原委員)

人材不足にならないためにも、働きやすい環境づくりは、最も大切なことであり、スタッフの子育て家庭を支援することが人材確保につながると思う。

安心して働ける環境を提供できるよう継続して取り組んでほしい。

(田中委員)

働きやすい職場環境の整備についてはしっかりと取り組んでいると評価できる一方で、働く方のやりがいの向上に関する取組みが少ないように思います。職員が何をもってやりがいが向上したと感ぜられるのかを明らかにしつつ、やりがいが向上していると判断できる指標を設けると良いと思います。例えば、医療提供体制の充実の項目にある医療職の育成、資格取得支援などと関連付けると良いと思います。

(松本委員)

P55 働き方改革の推進について、月平均時間外労働の時間が目標を大きく上回り達成していますが達成に至った効果的な要因について教えてください。

第3-1 効率的な経営の推進

(伊藤委員)

経営資源を有効に活用して成果を出している。

(川合委員)

材料費の2024年度の増加について、薬品費や手術材料など診療点数がつく材料費と、それ以外の病院運営上必要な物品費全ての材料費の増加分についてどのような状況か。(食料品の増加、消毒薬、マスク、ガーゼ、文房具など全ての材料を含めての材料費)

(川合委員)

後発医薬品の使用比率について、金額ベースでの割合を出しておいた方が良いのではないか。

(田中委員)

(6) 業務の質と量に応じた費用の適正化に関して、手術や診療内容によって使用する診療材料、医薬品や委託に係る費用が大きく異なるようになってきていると思います。そのため、診療科ごと、手術の種類ごとなど、診療材料費率、薬品比率や委託費比率を把握するほか、可能な限り細分化した単位での損益を把握することが重要だと思います。そうすることで、取り組んだ改善活動の効果の測定が容易になると思います。

第4-1 施設設備等に関する事項

(篠原委員)

「日々の省エネ運用によりエネルギー使用量の削減に努めた」(P67)とありますが、夏期の洗面所の水は温水でなくても良いのではないのでしょうか。光熱費節約になると思います。

光熱費や医薬品等の価格変更、改定がある中で、小さなことから見直して健全経営を望みます。